設立趣旨書

特定非営利活動法人 地域未来中間支援ネットワーク

設立代表者　長﨑 裕司

１．設立の趣旨

近年、少子高齢化、核家族化、地域における人間関係の希薄化などにより、子どもや子育て家庭、高齢者、障がいのある方々を取り巻く環境は変化しています。子どもの貧困や孤立、教育機会の格差、地域の居場所の不足など、個々の団体だけでは対応が難しい課題もあります。

地域には、子ども食堂、福祉施設、教育機関、商店街、企業、ボランティア団体など多様な活動主体がありますが、情報・人材・資金の不足や連携機会の少なさが、活動の継続と支援の広がりを妨げる場合があります。

私たちは、これらの主体を結び、互いの強みを生かした協働を促進する中間支援組織として活動し、子どもたちの声を起点に、誰もが安心して暮らし、学び、成長できる地域社会を目指します。

２．設立に至る経緯と法人化の必要性

当団体は任意団体として、大阪府池田市を中心に、子ども食堂等の活動状況の調査、地域団体間の情報共有、商店街や企業との連携、子ども向けイベントの企画などに取り組んできました。また、地域密着型ヒーロー「イシバシレンジャー」を活用し、防災や助け合いを学ぶ機会づくりも企画しています。

これらの活動を継続的かつ安定的に実施し、行政、教育機関、企業及び地域団体との協力関係を強化するためには、組織運営の透明性、責任体制及び社会的信用を高める必要があります。このため、特定非営利活動法人を設立することとしました。

３．法人設立後の活動

当法人は、子ども食堂や居場所づくり等の子ども・子育て支援、地域団体への情報提供・相談・連携促進などの中間支援、障がい児・障がい者とその家族への地域福祉支援を推進します。

また、商店街・企業・地域住民との交流事業、防災・教育啓発活動、若者や支援を必要とする方々の就労・社会参加を支える連携事業などに取り組みます。

４．目指す社会と今後の展望

行政、企業、商店街、教育機関、福祉施設及び住民が協働し、地域の課題を地域全体で解決する仕組みを築きます。子どもたちの意見を尊重し、その声を地域づくりに反映するとともに、必要な人に必要な支援が届くネットワークの形成、人材育成及び持続可能な運営を進めます。

池田市を中心とした活動を基盤に、周辺地域との連携を広げ、地域の特性に応じた中間支援の仕組みを育てていきます。

５．結び

私たちは、地域課題を一部の人や団体だけで抱え込むのではなく、多様な主体が互いに支え合うことが重要と考えています。子どもたちの笑顔を守り、誰もが孤立せず安心して暮らせる地域社会を次世代に引き継ぐため、公益性、透明性及び継続性を備えた特定非営利活動法人として活動することを決意し、ここに設立を申請します。